

『学びに向かう力』を高めたい

キーワードは

本校の教育目標でもある 「自律」

そして・・・「自己選択」

学びに向かう力がつくと

自分を見つめ（自己評価）

ねらいをもって課題を追究

（～だから～する、～なるために～する）

対話しながら課題を解決できるようになる

授業の中で、家庭学習で

様々な場面で「自己選択」の機会を設ける

子どもたちは、自分で見つけ、自分のやり方で

自分のペースで進んでいく

学びの中で、学校の中で、生活の中で

自分で考え、動き、周囲の人と交流しながら

「自律」した魚目っ子をめざして



新上五島町立魚目小学校

〒857-4512

長崎県南松浦郡新上五島町榎津郷401

TEL (0959) 54-2121

FAX (0959) 43-6074

メールアドレス el-uonome@shinkamigoto.ngs.ed.jp

学校ブログアドレス

<https://school.shinkamigoto.net/uonomesho.php>

令和4・5年度 長崎県教育委員会指定

長崎県「学びの活性化」プロジェクト実践モデル校事業

研究発表会

自ら学びに向かう児童の育成

～児童が主体的に学ぶ授業改善と

「学びの習慣化」を目指した家庭学習の在り方～



令和5年11月22日(水)

新上五島町立魚目小学校

柱1:主体的・対話的で深い学びのある授業

主体的・対話的で深い学びを目指して

授業の始めに前時の学習や既習事項を想起させ、それらと比較して問題提示を行い、児童の発言をもとに「めあて」を立てる。解決したいという想いをもとに課題を設定し、見通しをもたせ、主体的に学習に向かう意欲を高める。

課題解決の場面では、ペア学習やグループ学習における対話活動の際に、視点を明確にして自分の考えを伝えさせ、多様な考えに触れさせる。児童は、具体物や図表を用いて説明することで、意味理解を深める。

学習の振り返りの際は、教師は、児童の言葉を活かして「まとめ」させることで新たな知識や技能を概念化させる。

このような過程を通して、深い学びとなる授業づくりを行っている。

魚小振り返り

何のために振り返るのか・・・。

45分の授業の中で「自分の学びがどうだったのか?」「めあてとしていたことができたのか?」とその1時間を振り返る。ときには、その単元を通した学びを振り返る。

そのために考えたのが「魚小振り返り」

- ◎ よくわかった、よくできた
- まあわかった、できた
- △ あまりわからなかった、できなかった

本時の学習を振り返って、記号を記入する。

授業で ○○がわかった、○○できるようになった、○○がおもしろかった、○○があまりできなかった「だから」～したい、～をがんばりたい等の視点で記述する。

魚小振り返りで自分の学びを「自己評価」させ、家庭学習での「自己選択」へとつなげていく。

柱2:授業と家庭学習の往還

家庭学習がんばりカード

家庭学習がんばりカード (7/21~8/10)

日付	宿題	自主学習	学習時間
21 金	○×	学習したことを書こう	宿題 自学
22 土			
23 日			
24 月			

2 ページ

1 ページ

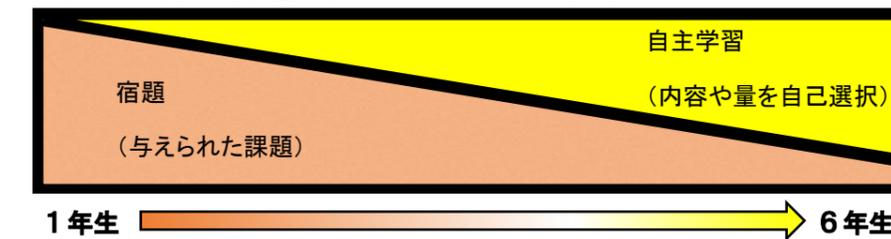
家庭学習がんばりカードの活用により、家庭学習の習慣化が図られている。現行の形式は計4回の改善を経たものとなっている。今年度は、家庭学習を「宿題」と「自主学習」に整理した。また、自主学習の内容を記述することで自主学習の内容充実も図られている。

家庭学習について

○本校がとらえる家庭学習とは…「個別最適な学び」を目指し「宿題と自主学習を合わせたもの」

- 「宿題」・教師側からの課題 → ・知識技能の定着
- 「自主学習」① 学習の補完 → ・魚小振り返りを活かした柔軟な設定
- ② 学習の発展 → ・児童の主体性を引き出す ・学びを深める

○家庭学習の宿題と自学のバランス移行イメージ



○自学ノート・・・ 低学年: 自学ノートファーストブック
中、高学年: 「ぎばる星」「じこもん星」

ぎばる星

学校で学習したことをふりかえって、よく分らなかったところを学び直したり、分かったことを生かして学びを深めたりすることができています!

じこもん星

自分の興味があることを調べてみたり、学習の中でもっと知りたいと思ったことを調べたり、新聞や本を読んだ感想を書いたり自分で考えて取り組んでいます!

※「ぎばる」・・・頑張る ※「じこもん」・・・お利口さん

○タブレット端末の活用

- ・学習ソフト ・AIドリル ・ロイロノート ・調べ学習

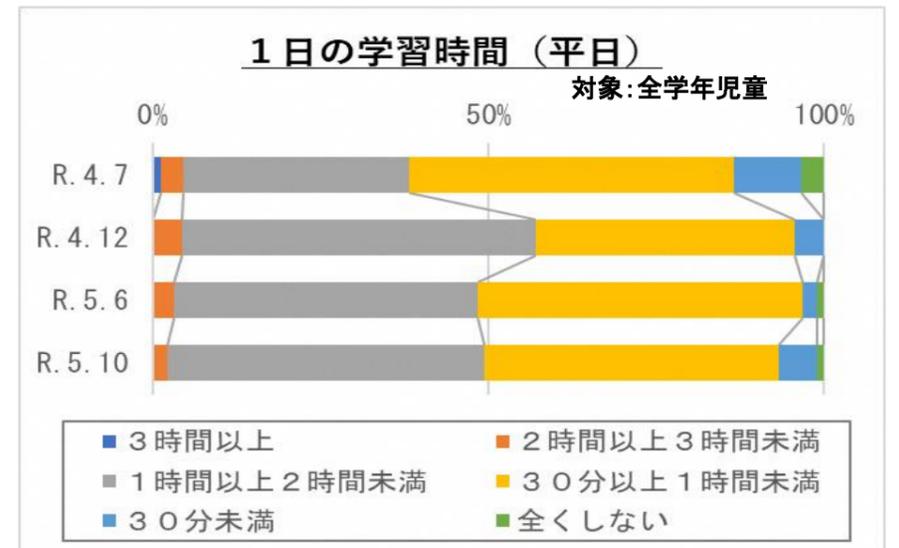
図書館教育

本校は、公立図書館が併設されている。また、図書ボランティアの活動も行われている。図書館司書・読み語りボランティアとの連携により、学級文庫の活用や読書(家庭読書)の充実に向けた取組を行った。毎週木曜日を「家庭読書の日」に設定し、家庭学習の一つとして読書を推奨している。

保護者との情報交換会

2年間で計4回の情報交換会を行った。学校での取組状況の説明を行い、家庭学習の様子やICT活用、タブレット端末持ち帰りについて保護者の意見を聞く良い機会となっている。タブレット端末の持ち帰りを始めた直後には、低学年の児童にはタブレット端末が重いとの意見があり、持ち帰りの曜日を考慮したり、教科書を持ち帰らないようにしたりした。今年度は、自主学習に取り組む様子や「宿題0」についての意見交換も行った。保護者との情報共有を行うことで、各取組の改善・充実につながった。

家庭学習状況調査 (保護者アンケート)



2年間で計4回(R4. 7月・12月 R5. 6月・10月)のアンケート調査を行った。その結果、児童の学習時間の変化やタブレット端末の活用方法の広がりを継続的に把握することができ、家庭学習の具体的な取組を考える際、有効だった。

保健指導や生活指導等、教育課程全体を通して「学びの習慣化」に向けた取組を進めている。